

竹田市立祖峰小学校 【ICT活用の実際、自尊感情の醸成、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



4・5年 道徳
⇒ シンボルマークの拡大図

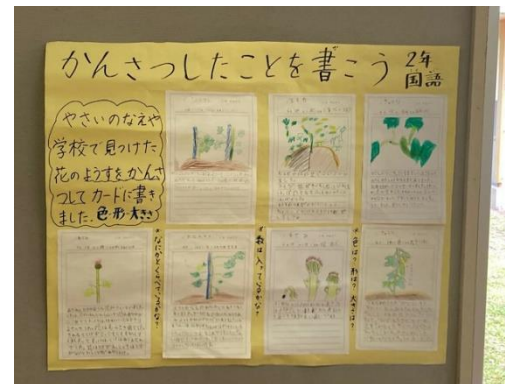


2年 国語科 ⇒ 児童の作品提示



3年 算数科 ⇒ 書画カメラ

2. 自尊感情の醸成

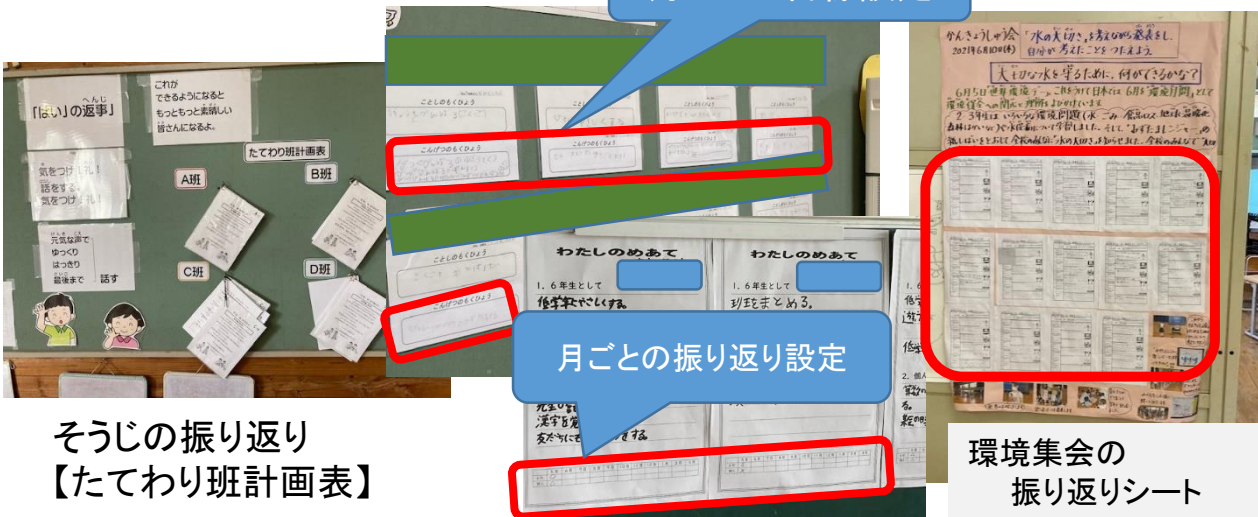


国語科作品



祖峰っ子
ともだちの木

3. 自立した学習者の育成



月ごとの目標設定

月ごとの振り返り設定

そうじの振り返り
【たてわり班計画表】

環境集会の
振り返りシート

1. 4・5年の道徳では、竹田市のシンボルマークを拡大提示し、児童が授業の中で常に意識できるように工夫していました。2年の国語科では、『自分の絵を聞き手に正しく伝えるための工夫』についての授業でした。児童の作品をテレビ画面に拡大提示し、その画面をもとに児童が発表していました。また、3年の算数科では、書画カメラを活用していました。
2. 国語科の作品「かんさつしたことを書こう」や祖峰っ子ともだちの木を掲示することで、児童がいつでも目にするのができ、自尊感情の醸成に繋がるものになっていました。
3. 『自立した学習者の育成』として、そうじの振り返り、月ごとの目標設定、月ごとの振り返りの記入欄を設けた『めあてシート』や環境集会の『振り返りシート』などが掲示されていました。児童自らが、様々な活動を見つめ直す機会が設けられ、次の活動に繋がる取組となっていました。